



サフランの育て方



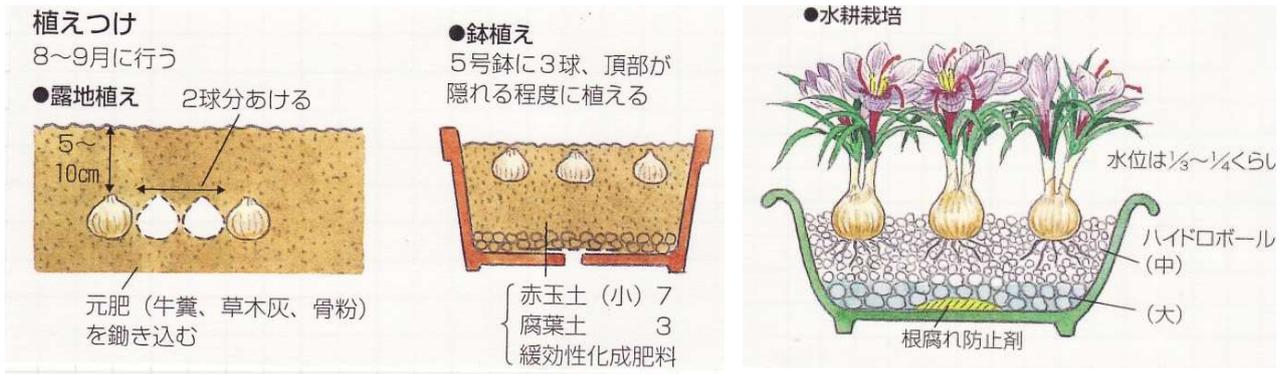
Q. サフランを育ててみたいと思います。育て方を教えてください。

A. サフランは9月に植えれば10月に咲きます。
日当たりと水はけのよいところで育ててください。

《ポイント》

開花までの期間が短いので植つけが遅れないようにします。めしべは薬や染料になります。

サフラン アヤメ科 原産地：南ヨーロッパ、地中海沿岸
植えつけ 9月初めに牛糞、草木灰、骨粉をすきこんだ花壇に、深さ15cm、
間隔10cmほどに植えます。
鉢植えでは5号鉢に3球、球根の頭が隠れる程度に植えます。



<水栽培> 丈夫な球根で水盤や浅鉢に hidroponic balls を敷いて、その上に球根を置き水を入れるだけで花が咲きます。

<めしべ> 花が咲くと鮮紅色のめしべが出ます。めしべを乾かして香料、染料、漢方薬に使います。

<追肥> 3月に化成肥料を施し、球根を太らせます。

<開花後の手入れ> 花がらを摘み取ります。鉢植えでは1.5cmくらい増し土して新球根の肥大を促します。冬も戸外で育てます。

<掘上げ> 5月に葉が黄色になったら球根を掘上げ、風通しのよい日陰で保存します。



ホウレンソウのプランター栽培

Q. プランターでホウレンソウをつくりたいので要点を教えてください。

A. ホウレンソウは耐寒性が強く、土の水分に鈍感で土の酸度を中性に保てばよいので育てやすい野菜です。

《ポイント》

各種ビタミンや鉄分、カルシウムなどに富む栄養野菜。造血作用もある。最近はサラダ用の品種もおめみえし、ベビーリーフとしても利用されます。



ホウレンソウ（アカザ科） コーカサス地方原産
〈品種〉サラダあかり：葉柄、葉脈ともに鮮紅色で、
アクが少なく食感がよい。

ディンプル：成育が早く葉が柔らかい。
アクが少なく口当たりがよい。

タネまき：条間10～15cmの2条まきとし、深さ約1cmの条に1cmほどの間隔でタネをまき、溝が埋まるくらいに土をかけます。

水やり：発芽するまでは表土が乾かないようにやります。
発芽後は表土が乾いたらたっぷりやります。やりすぎないように注意！

間引き：双葉が完全に開いた頃、株間3～4cmに、本葉2～3枚のとき株間6～7cmにします。間引きの後で土寄せをします。

追肥：タネまき後17～20日、草丈8～10cmに育ったとき化成肥料を10gくらいプランター全体に施します。

液肥を使う場合は、週1回、500倍液肥を水やり代わりに与えます。

病害虫対策：アブラムシ、ヨトウムシの害があります。タネまき後にムシ除けネットで覆い、侵入を防ぎます。

収穫：タネまき後、30～40日が適期です。
草丈が25cmほどになれば順次収穫します。
ベビーリーフで利用するときは草丈10cmでとれます。

